



写真図説 **イギリスの邸宅建築と庭園**
English Homes & Gardens

【復刻版】全10巻



◆第1回◆

中世から初期チューダー様式

全3巻+別冊解説

Part 1: Medieval and Early Tudor

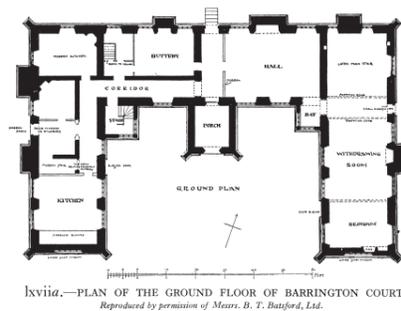
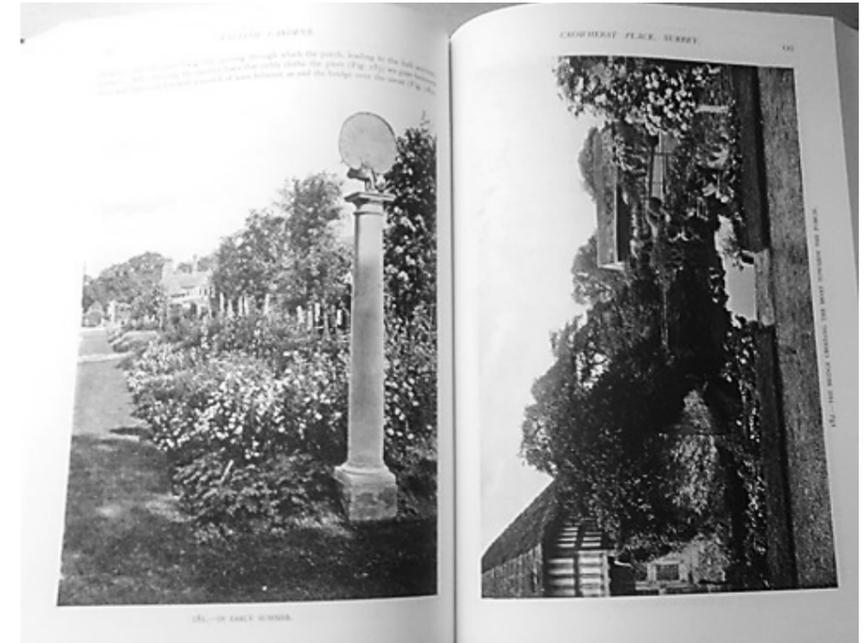
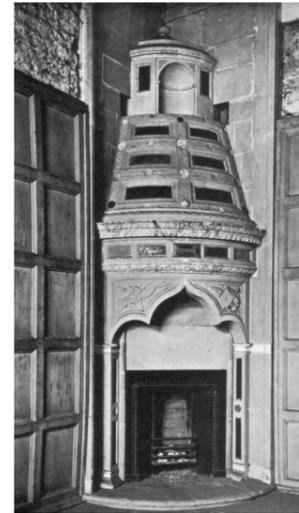
2013年9月刊行 A4判・約1,260頁 本体セット価¥88,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-182-2

Vol. 1: Period I - Vol. 1: Norman and Plantagenet (1066-1485), 377pp.

Vol. 2: Period II - Vol. 1: Early Tudor (1485-1558), 456 pp.

Vol. 3: Period I & II - Vol. 2: Medieval and Early Tudor (1066-1558), 412 pp.

第1回は、中世から初期チューダー様式の79の邸宅を収録。各巻頭のティピングによる詳細な序文に加え、別冊には監修者による日本語解説および全シリーズ中の邸宅建築・庭園のリストと日本語紹介入り。



◆第2回◆

後期チューダーから初期スチュアート様式

全4巻

Part 2: Late Tudor and Early Stuart

2014年7月刊行 A4判・約1,260頁 本体セット価¥118,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-183-9

Vol. 4: Period III - Vol. 1: Late Tudor and Early Stuart (1558-1649), 498 pp.

Vol. 5: Period III - Vol. 2: Late Tudor and Early Stuart (1558-1649), 445 pp.

Vol. 6: Period IV - Vol. 1: Late Stuart (1649-1714), 470 pp.

Vol. 7: Period IV - Vol. 2: The Work of Sir John Vanbrugh and his School (1699-1736), 397 pp.

第2回は、英国各地で新たな邸宅建築が盛んに行われたエリザベス1世統治期、そしてジェームス治世期の所謂ジャコビアン様式に焦点を当てる2巻と、後期ルネサンス建築を代表する建築家ニコ・ジョーンズやジョン・ヴァンブラとその流派らによる建築を収録する2巻の計4巻に99の建築作品を収録。

◆第3回◆

初期・後期ジョージアン様式およびイギリスの庭園

全3巻

Part 3: Early and Late Georgian & English Gardens

2015年9月刊行 A4判・約1,260頁 本体セット価¥88,000- (+税) ISBN: 978-4-86166-184-6

Vol. 8: Period V - Vol. 1: Early Georgian (1714-1760), 400 pp.

Vol. 9: Period VI - Vol. 1: Late Georgian (1760-1820), 413 pp.

Vol. 10: English Gardens, 441 pp.

第3回はジョージアン様式の邸宅45点を収録する2巻に、英国の代表的な庭園52点を掲載する1巻『イギリスの庭園』を含む。グランドツアーなどで学んだ、ヨーロッパ大陸やイタリア文化・芸術を吸収し成立していったジョージア期の芸術様式は、建築、家具、造園などの工芸美術で顕著であり、多数の写真入りで解説した本配本はイギリス文化史の全容の理解に特に貴重。

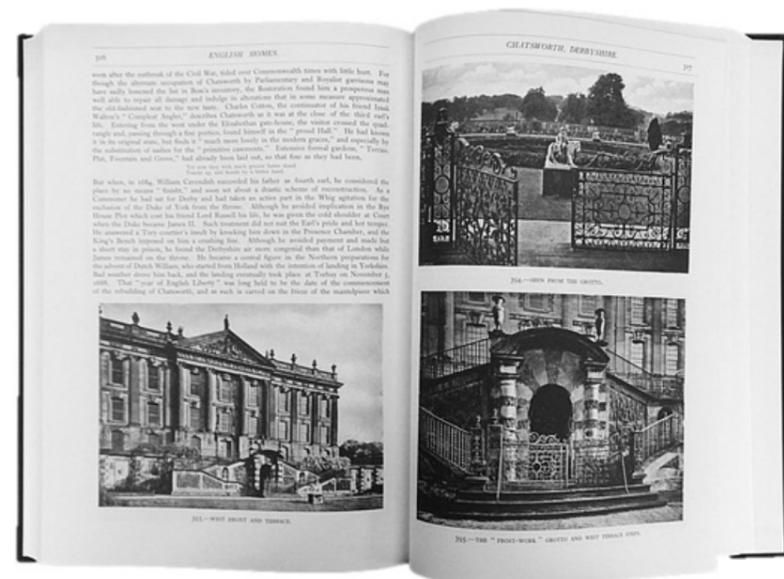
監修者より

この度、イギリス（イングランドおよび一部ウェールズ）の邸宅建築と庭園に焦点をあててヘンリー・A・ティピング（Henry Avray Tipping, 1855-1933）の手によって刊行された大型ヴィジュアル本、全10巻が『イギリスの邸宅建築と庭園』というタイトルの下に復刻されることになった。著者ティピングは、オックスフォード大学クライスト・チャーチ出身の著名な建築史家・建築評論家であり、1907年から亡くなる1933年までイギリス上層階級の必読誌であった雑誌『カントリー・ライフ』の建築部門の編集主幹を務めた人物である。ティピングはまた造園家としても広く知られ、今日、イングリッシュ・ガーデンが西洋庭園史に確固たる地位を占めるに至った立役者の一人として評価が高い。そうしたティピングの建築史と造園芸術の両分野での功績に光をあてるべく、今回の復刻では、約8世紀にわたるイギリスの邸宅建築の実例を扱った彼の代表的著作『イングランドの邸宅』（*English Homes*）全9巻に、イングランドの庭園52例を取り上げた『イングランドの庭園』（*English Gardens*）を加え、全10巻として刊行される。

『ティピング著作集』とも呼び得るこの充実した復刻版では、ノルマン王朝時代から後期ジョージ王朝時代までのイギリスを代表する300以上の邸宅建築と庭園が網羅され、4600点を超える写真と図面とともに、それらの美的、歴史的、文化的価値が解説されている。それは、自らも広大な邸宅を所有していたティピングというひとりの優れた建築史家の建築・庭園芸術の鑑賞の記録であるとともに、20世紀初頭、エドワード王朝時代の上層階級を中心とした建築芸術、造園芸術に対する広範な関心と美的趣味の一端を明らかにしてくれる。

当時撮影された写真の数々も、今日類例の乏しい歴史資料として価値が高く評価されているもので、そうした優れた視覚的資料が数多く本書に収録されている点も見逃せない。インテリアや調度品、庭園を含め、イギリス芸術史に燦然と輝くイギリス邸宅建築の傑作を時代別に取り上げたティピングのライフワークは、イギリスの建築史、美術史、庭園史の研究にのみならず、イギリス文化史の全容を理解するうえでも大いに刺激となるであろう。

近藤存志（フェリス女学院大学教授）



「ジェイン・オースティンの『高慢と偏見』の舞台となった Chatsworth House」



発行元：Edition Synapse

（エディション・シナプス）

〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-8-5

Tel: 03(5296)9186 Fax: 03(3252)1822

http://www.aplink.co.jp/synapse

取り扱い書店：

英国の邸宅と庭園約300点の全貌を、建築物だけでなく、内装、家具、庭などを含む4,600点近い写真・図版とともに紹介した、英国建築史に関する最大級の資料。



1920～30年に刊行された大型ヴィジュアル本シリーズ『イギリスの邸宅建築』全9巻に『イギリスの庭園』1巻を加え、全10巻を復刻。（原本を15%縮小。）

英国を代表する邸宅と庭園約300点を
4600点以上の写真・図版とともに紹介したシリーズ—全10巻完結

写真図説

イギリスの邸宅建築と庭園

復刻版 全10巻

English Homes & Gardens, 10 volumes

編著：H. Avray Tipping

監修・解説（日本語別冊）

近藤存志（フェリス女学院大学教授）

全10巻セット価格：¥294,000-（+税）*全巻刊行済み・分売可

ノルマン期から後期ジョージアン期まで様式ごとに編集され、各時代に住居として使われた英国の歴史的建築物（城館邸宅、マナー・ハウス、カントリー・ハウス等）と使用されていたインテリアや調度品も含め、多数の写真と建築図面などを収録。すでに失われた建築物の写真も多く含む。



ゴシック小説『オトランド城奇譚』ので知られるウォルポールの邸宅で「ストロベリーヒルズ」、オースティンの小説『高慢と偏見』の舞台「チャッツワース」、今日も英国首相の公式別荘として使われ政治・外交の舞台ともなる「チェッカーズ」など、英国史、文学に登場する邸宅も含まれ、英国文化に関するすべての研究・教育に有用な資料。

Edition Synapse